

□講義科目（専門科目）

科目名	スポーツ哲学特論	2単位
担当者	高尾尚平	
テーマ	スポーツとは何かという問いについて、哲学的思考をもとに自ら考える	
科目のねらい	<p><キーワード> ① スポーツ ② 競技スポーツ ③ 本質 ④ 性質 ⑤ 分析哲学 ⑥ 大陸合理論 ⑦ 身体教育</p> <p><内容の要約> スポーツ哲学とは、スポーツとは何かという問いについて迫る学問分野である。換言すれば、スポーツの本質とは何かに迫ることがねらいである。しかし、その前提として、スポーツの本質とはなにか、という問いそのものに対する哲学的探究が求められる。そもそもスポーツに本質があるのかどうか、問いの設定の妥当性も含めて学習し、スポーツのエトス（内在的目的）や価値について理解を深める。そのために、英語論文を中心に、分析スポーツ哲学、大陸スポーツ哲学の文献を精読していく中で、上述したスポーツ哲学の考察対象について理解を深めるとともに、議論を展開していく。</p> <p><学習目標> 1. スポーツの定義について考えることが出来る。 2. スポーツの本質論・非本質論の立場について、哲学的視点から理解出来る。 3. 海外の文献を中心に、スポーツ哲学の方法論について理解できる。</p>	
授業の進め方	第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 スポーツ哲学史について 第 3 回 英語論文の精読 1 第 4 回 英語論文の精読 2 第 5 回 英語論文の精読 3 第 6 回 英語論文の精読 4 第 7 回 英語論文の精読 5 第 8 回 英語論文の精読 6 第 9 回 英語論文の精読 7 第 10 回 英語論文の精読 8 第 11 回 中間確認テスト 第 12 回 スポーツに関する応用哲学（1）競争の哲学 第 13 回 スポーツに関する応用哲学（2）オリンピックの哲学 第 14 回 スポーツに関する応用哲学（3）パラリンピックの哲学 第 15 回 スポーツに関する応用哲学（4）身体の哲学	
事前学習の内容 学習上の 注意	事前学習：指定した英語論文の予習を行ってこること（240分） 事後学習：学習内容の定着を図る（60分） 適宜支持する予習を行い、能動的に授業に参画し、自ら考え、積極的に発言をすること	
本科目の 関連科目	スポーツインテグリティ特論	
テキスト	Cesar R.Torres (ed) The Bloomsbury companion to the Philosophy of sport. Bloomsbury.	
参考文献	友添秀則・岡出美則編著（2016）新版 教養としての体育原理. 大修館書店.	
成績評価方法 と基準	論述試験 100%	